

MAROPIGXニュースレター発行開始

お世話になっております。MAROPIGX管理者の佐々木です。
昨年11月に登米市米山町に開所してから半年が経過しました。
現在では2名の利用者様に通所していただいております、なかなかの
スロースタートながら、利用者様に加えて職員も楽しく活動させて
いただいております。
今回、ちょうど令和8年度にもなりましたので、さらに多くの
皆様に当事業所を知っていただこうと、月1回の予定で事業所の
ニュースレターを作成することにいたしました。



作業への取り組みと苦手の克服

現在2名の利用者様がいらっしゃいますが、男女1名ずつとなっております。女性の利用者様は以前にも
別の事業所で畜産の作業を経験してきた方で、現在は週に1回の利用です。通所後から積極的に作業に取り
組み、安定した通所が出来るということで、医師からも1日増やしてもいいという許可も出ました。
通所時は「作業が楽しい」と語ってくれており、どんどん新しい作業にもチャレンジしています。
男性の利用者様は、当初豚が怖いということで豚舎内での作業が難しい状況にありました。そこで、ま
ずは豚舎外での清掃や掃除に取り組んでいただき、それとは別で毎日豚舎内を覗いてもらって豚や豚舎内
の環境を目で見慣れることを継続しました。すると、そこから少しずつ本人の意思で入れるようになって
いき、今では豚舎内の掃除に取り組めるまでになりました。ここまでにはご本人の中でも相当な努力が
あり、勇気を振り絞って頑張ってきた毎日がありました。今でもまだ多少の怖さを抱えつつも、「ぼくも
もっと出来るようになりたいので頑張る」と、豚舎内での作業に対しその努力と勇気を継続しています。

支援学校生の実習決定

今回、石巻支援学校の生徒様の実習が決定
しております。畜産を経験できる数少ない事
業所でもあるため、ご家族様の方でも興味を
持っていただいているということでした。
また、卒業後に利用ということになれば、
作業で得たスキルをそのまま活かせるように
畜産業界への一般就労も推進していますので、
こういった部分もご興味を持っていただけて
いるというお話でした。

実習時期 令和8年5月下旬

職員紹介

職名：管理者
名前：佐々木
経歴：調理師や高齢・障害福祉など（副業でIT関係や探偵など）
好き：楽するための努力、緑の季節、妻の卵焼きなど
嫌い：楽しくないこと、やりがいのないこと、乳製品とレバー！！

管理者の佐々木でございます。私は利用者様のみならず、働く職員
も楽しく仕事に従事し、更にはフルパフォーマンスで働ける環境を作
ることが上立つ者の最大の責務だと思っております。
ということを職員にも伝えてるので、「やれてないですが？」と見
捨てられないように背水の陣で職務を全うしていきたいと思っております。



株式会社Penguin Adventure
就労継続支援B型 MAROPIGX

〒987-0301 宮城県登米市米山町善王寺5

【TEL】 070-9323-1906

【MAIL】 maropigx@penguinadventure.jp

【HP】 <https://pa-maropigx.jp>

生産活動（作業）の一部をご紹介します

MAROPIGXでは、豚のお世話をする作業があります。今利用している利用者様の意思や特性に合わせ、できることから取り組んでいただいていますので、成功体験の積み重ねがご本人の喜びや成長に大きく繋がっている状況です。

そんな中、まず取り組んでいただいている作業は「お掃除」の部分であり、体験時やご利用開始時には皆さん「お掃除」から開始していただいております。その後、ご本人の意思および作業の慣れを見て、より専門的な作業にステップアップいたします。



豚の健康状態を確認

豚の健康状態は結構変わりやすいです。足を引きずっていないか？横になったまま動けなくなっていないか？ちゃんと呼吸しているか？そういった状態を1頭ずつ確認しながら、豚舎の中の全ての豚をチェックします。



通路の掃き掃除

豚舎の中の通路をホウキなどで掃き掃除します。ほこりやゴミをしっかりとホウキで集めて、ちりとりで取って捨てます。そのほか、ドアについている窓なども拭き掃除します。



通路を水で洗う

高圧洗浄機のような水が出る装置を使い、豚舎内の通路を水で洗っていきます。車を洗うような高圧洗浄機よりは威力が低いので、筋力が弱い方や女性でも扱いやすい装置です。



豚のエサを配合する

主に子豚が食べるエサを作ります。成長度合いに合わせてエサの配合量が変わるので、気を付けながら作ります。配合後は子豚にエサを与えます。他の豚は機械が自動でエサを与えてくれるので、配合するのは子豚だけがいる離乳の豚舎のみです。